

西名古屋火力発電所7号系列の建設および武豊火力発電所5号機のリプレース計画について

1 西名古屋火力発電所7号系列

(1) 特徴

火力発電として世界最高となる熱効率62%程度を実現し、LNG消費量50万トン/年^{※1}および二酸化炭素排出量140万トン/年^{※1}の削減を見込む。

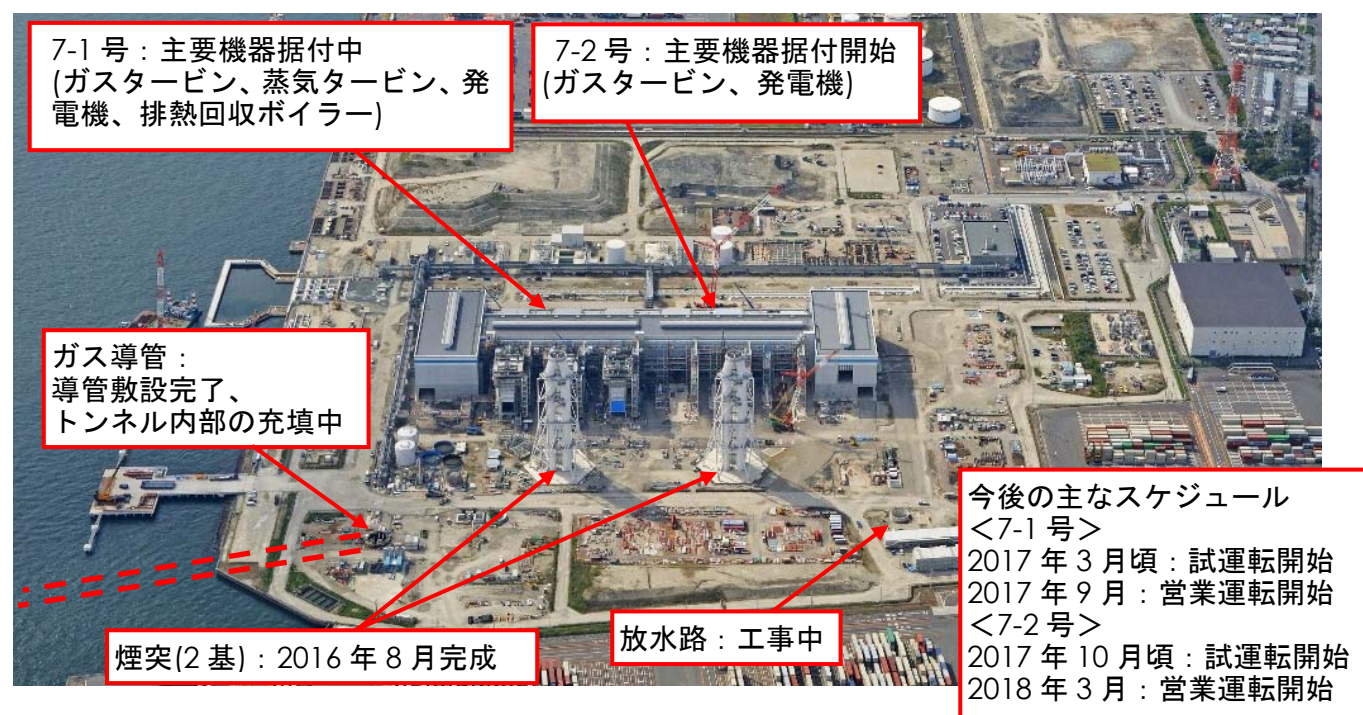
※1 年間利用率を80%とした場合、7号系列と当社LNG火力発電所の平均熱効率(49%)との比較

(2) 設備概要

所在地	愛知県海部郡飛島村東浜三丁目5番地
出力	合計：237.6万kW (7-1号、7-2号とも118.8万kW)
発電方式	高効率コンバインドサイクル発電方式
燃料	LNG(液化天然ガス)
熱効率	62%程度(低位発熱量基準 ^{※2})
営業運転開始	7-1号：2017年9月(予定) 7-2号：2018年3月(予定)

※2 燃料を燃焼させた時に発生する水蒸気の蒸発熱を発熱量に含まない方法。なお、蒸発熱を発熱量に含む方法は「高位発熱量基準」という。

(3) 現在の主な進捗状況と今後のスケジュール(写真は10月12日撮影)



2 武豊火力発電所5号機

(1) 特徴

石炭火力における最先端の発電技術を採用することで国内最高水準の熱効率46%程度を実現。二酸化炭素の排出量の抑制と、競争力の高いベース電源を確保する。

(2) 設備概要

所在地	愛知県知多郡武豊町字竜宮1番1
出力	107万kW
発電方式	超々臨界圧(USC) ^{※3}
燃料	石炭
熱効率	46%程度(低位発熱量基準)
建設開始	2018年5月(予定)
営業運転開始	2022年3月(予定)

※3 Ultra Super Critical。蒸気圧力が22.1MPa以上で主蒸気温度が566℃を超える発電方式。

(3) 現在の主な進捗状況と今後のスケジュール(写真は9月16日撮影)

